

【広島市の消費者物価指数】平成 22 年=100

1 平成 28 年 6 月の動向

- (1) **総合指数**(104.0)は前月比で同水準。
前年同月比は 2 か月ぶりの上昇。
- (2) **生鮮食品を除く総合指数**(103.3)は前月比で 4 か月ぶりの下落。
前年同月比は 36 か月連続の上昇。
- (3) **食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数**(101.5)は 4 か月ぶりの下落。
前年同月比は 33 か月連続の上昇。

図 1 総合指数の推移

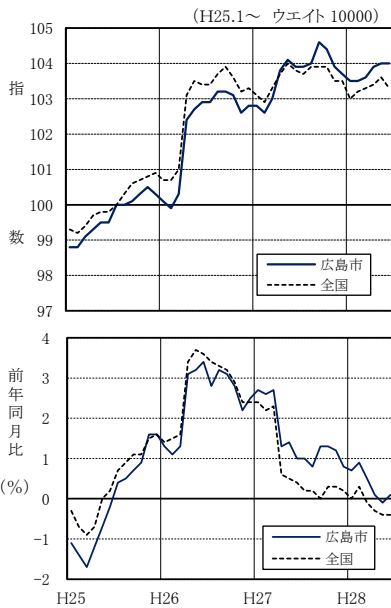


図 2 生鮮食品を除く総合指数の推移

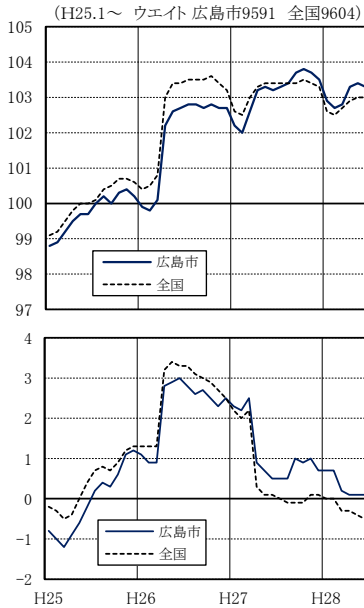
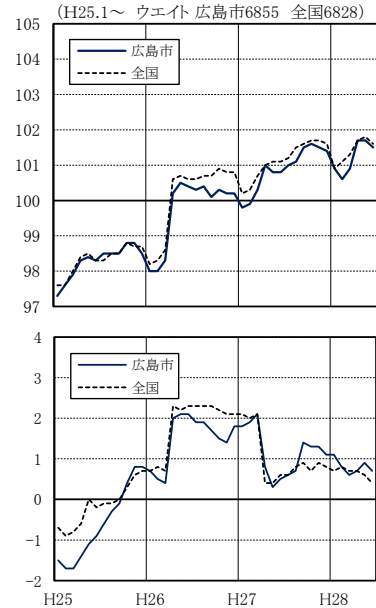


図 3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	104.0	0.0	0.1
生鮮食品を除く総合指数	103.3	▲0.1	0.1
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数	101.5	▲0.2	0.7

3 前月からの動き

～食料は上昇, 家具・家事用品及び光熱・水道は下落。～

(1) 10 大費目指数の前月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	104.0	111.0	99.0	104.8	96.9	110.8	101.4	100.7	101.8	98.4	110.4
前月比 (%)	0.0	0.5	0.0	▲ 0.9	▲ 1.8	0.3	0.1	0.4	0.0	▲ 0.4	▲ 0.2
寄与度	0.0	0.13	0.00	▲ 0.07	▲ 0.07	0.01	0.00	0.05	0.00	▲ 0.05	▲ 0.01

(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に, 各費目がどれだけ影響したかを示したもの。

本来, 寄与度の合計は, 総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが, 四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数の前月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
魚介類(えび 等)	0.15	果物	▲0.12
野菜・海藻	0.06	家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	▲0.06
自動車等関係費(ガソリン 等)	0.06	電気代(電気代)	▲0.04
履物類(婦人靴 等)	0.04	教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	▲0.03
肉類(牛肉「国産品」 等)	0.03	家事雑貨(マット 等)	▲0.02

4 前年同月との比較

～食料は上昇、光熱・水道及び交通・通信は下落。～

(1) 10 大費目の前年同月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.1	1.6	▲0.4	▲6.5	0.0	5.2	0.1	▲2.1	2.3	1.4	0.8
寄与度	0.1	0.43	▲0.07	▲0.52	0.00	0.24	0.00	▲0.29	0.07	0.15	0.05

(2) 総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	0.10	自動車等関係費(ガソリン 等)	▲0.27
履物類(婦人靴 等)	0.09	ガス代(都市ガス代 等)	▲0.23
外食(焼肉 等)	0.09	電気代(電気代)	▲0.22
穀類(カレーパン 等)	0.07	他の光熱(灯油)	▲0.06
洋服(婦人上着 等)	0.07	設備修繕・維持(火災保険料 等)	▲0.04

図4 総合指数の前年同月比及び 10 大費目別寄与度の推移

